

# 川崎市×うんこドリル 川崎市子どもの権利に関する条例 ワークショップ集

川崎市子どもの権利に関する条例が身近なものであると感じてもらえるようにするとともに、どんなときに権利が守られているかに気づいていただけるよう、3つのワークショップを用意しました。

子どもの権利に関する条例への理解は、子どもだけでなく、おとなが理解することも重要です。ワークショップは、子どもだけでなくおとな同士でも実施できるものになります。

それぞれの進め方を参考に、ワークを実施してください。

- ①川崎市子どもの権利に関する条例めいろ
- ②うんこドリルの活用方法
- ③川崎市子どもの権利に関する条例当てゲーム

※ドリルにある7つの権利は主なものであり、この7つの権利だけが子どもの権利ではありません。意識した声掛けをお願いします。

## ワークショップを行うときの「安心のためのルール」

誰もが安心して参加できるように、ワークショップ実施前に以下のことを参加者に伝えることを推奨します。

- ・お互いの意見を尊重する（受け止める）。意見が違ふのはOK。意見と人格は否定しない。
- ・ここでの話はこの場だけ。プライベートな話や秘密は守る。
- ・話せる範囲で話す。無理に全部話す必要はない。

「川崎市×うんこドリル 子どもの権利」について

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000166054.html>

子どもの権利条例 広報資料

<https://www.city.kawasaki.jp/shisei/category/60-2-7-0-0-0-0-0-0.html>



## ワークショップ① <<子ども・おとな共通>> 川崎市子どもの権利に関する条例めいろ (通称：子どもの権利めいろ)

所要時間：10分程度～

対象年齢：小学校低・中学年

★＝進行のポイント

### ステップ1

めいろを各々で実施します。

### ステップ2

なぜその解答になるのか解説します。(解説シート参照)

★解説に基づき問題ごとに「〇〇が守られているね」とポイントを押さえ、時間次第で解説シートの条文(抜粋)にも触れていきましょう。

### ステップ3

気になった権利を選び、その理由をシェアしましょう。

★最後に、様々な価値観があることに気づき、お互いの理解を深め合い、尊重しあえる声掛けをしてまとめていきましょう。

めいろ・解説シート ダウンロードURL

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000166060.html>

※A3サイズの印刷推奨



## ワークショップ② <<子ども向け>>

### 川崎市子どもの権利に関する条例×うんこドリルの活用方法

所要時間：20分～40分程度

対象年齢：小学校低・中学年

★＝進行のポイント

#### ステップ1

うんこドリル内の問題に取り組み、その後、全体で一緒に答えを確認してください。

#### ステップ2

うんこドリルの問題の答えの下にある、問いかけに取り組みましょう。

★みんなと話しやすい権利を2つ程度予め選んで実施すると良いです。

おすすめ：権利1・2

#### ステップ3

問いかけに対して書いた内容を共有しましょう。

★共有の前に、「安心のためのルール」を確認しましょう。

共有の際は、優劣をつけたりコメントをする必要はなく、「色々な安心できる場所があるんだね（例：権利1）」など、**様々な価値観をありのままに受け止めるような声掛けをしていきましょう。**

#### ステップ4

まとめとして動画を見て、子どもの権利について改めて確認しましょう。

動画：子どもの権利条例 広報資料ページ内

みんなで考えてみよう川崎市子どもの権利条例（PRアニメーション）

<https://youtu.be/lzzVI3ahheg?si=EwRARidoWUvknTaf>



#### +プラスのワーク

- ・子どもたちが自分自身のことについて踏み込んで話しやすい環境であれば、他の問いかけにも取り組んでみましょう。
- ・自分の経験についてエピソードがあれば共有してもらいましょう。
- ・お気に入りの権利を選び、その理由を共有しましょう。

## ワークショップ② <<おとな向け>>

### 川崎市子どもの権利に関する条例×うんこドリルの活用方法

所要時間：30分～45分程度

★＝進行のポイント

#### ステップ1

動画を視聴し、子どもの権利についての概要をつかみましょう。

動画：子どもの権利条例 広報資料ページ内

みんなで考えてみよう 川崎市子どもの権利条例（PRアニメーション）

<https://youtu.be/lzzVI3ahheg?si=EwRARidoWUvknTaf>



#### ステップ2

うんこドリルの裏表紙の『子どもたちからおとなへのメッセージ』を読んで、おとなも自分の権利を大切にすることの重要性を確認しましょう。

#### ステップ3

うんこドリル内の問題と、答えの下にある問いかけに取り組みましょう。

★個人差がでやすいので権利1～7の時間を区切りながら進めていきましょう。

時間が限られている場合は、取り組む問いかけの数を減らしてみましょう。

#### ステップ4

問いかけに対して書いた内容のうち、2つ程度をピックアップして共有してもらいましょう。

★共有の前に、「安心のためのルール」を確認しましょう。

共有の際は、優劣をつけたりコメントをする必要はなく、「色々な安心できる場所があるんだね（例：権利1）」など、**様々な価値観をありのままに受け止めるような声掛けをしていきましょう。**

#### +プラスのワーク

- ・自分の経験（子どもとの経験）で困難に思っていることを話し、それが守られるために変わらないと（変えないと）いけないことを話し合しましょう。
- ・困難な状況をなくすために自分たちできることは何かを考えてみましょう。

# ワークショップ③ <<子ども・おとな共通>> 川崎市子どもの権利に関する条例当てゲーム (通称：子どもの権利ゲーム)

所要時間：30分程度～  
対象年齢：小学校中・高年  
★＝進行のポイント

## ステップ1

うんこドリル内の問題に取り組み、その後、全体で一緒に答えを確認してください。

## ステップ2

・子どもの権利ゲームを実施します。 ※進め方は右記

## ステップ3

・お気に入りの権利を選び、その理由を共有しましょう。

## 子どもの権利ゲーム

7つの困難な状況に対して、どれが困難から抜け出すために最も効果的な権利なのかを当てるゲームです。スライドを投影または印刷して実施が可能です。

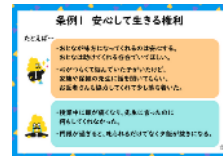
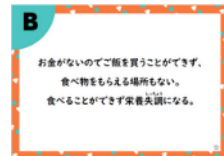
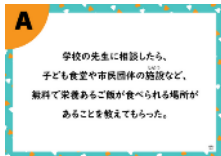
スライドダウンロードURL

<https://www.city.kawasaki.jp/450/page/0000166060.html>



それぞれの権利に対して4つのスライドが1セットになっています。

- ・ 困難な状況
  - ・ A 権利が守られ困難な状況を乗り越えた場合の状況
  - ・ B 権利が守られずに困難な状況が続いた場合の状況
  - ・ 川崎市の子どもたちから出てきた、各権利に関連するエピソード
- ※オレンジが守られていると感じた状況、  
青が守られていないと感じた状況



## 子どもの権利に関する条例当てゲームの進め方 (ステップ2)

- ・ まず、困難な状況のスライドを1つ見せます。
- ・ うんこドリルの18ページを見て、その困難な状況に対して最も効果的だと思う権利を、1～7の中から選んでもらいます。
- ★子どもには「この困難な状況を乗り越えるために、どの権利が一番助けになりそうか考えてみよう！」と説明してください。

P18



- ・ 子どもたちから考えを聞いたら、答えを発表し、スライドA(権利が守られ困難な状況を乗り越えた場合)と、スライドB(権利が守られずに困難な状況が続いた場合)をそれぞれ見せましょう。
- ★各権利は重なる部分も多いため、**似た権利を選んだ場合でも不正解ではありません**。正解・不正解ではなく「最も効果がある権利(一番助けとなる権利)」という説明を徹底しましょう。

- ・ その権利に関して、川崎市の子どもたちからでてきたエピソードを紹介しましょう。
- ・ 自分の経験についてエピソードがあれば、共有してもらいましょう。

※ダウンロードいただく『川崎市子どもの権利ゲーム』のスライドは、子どもの権利1～7の順にセットで並んでいます。ワークを実施する際は、答えが予想できないように順番を入れ替えて実施してください。その際に各権利の4つのスライドが混ざらないよう、スライドの右下に記号を付けています。  
権利番号 1 ☆ 2 ○ 3 ● 4 △ 5 ▲ 6 □ 7 ■

※1つの権利に5～10分程度かかります。ワーク実施の時間に合わせ、3つ程度選んで実施するなど、カスタマイズをしてください。  
おすすめ：権利2・5・6

発行日：2024年3月

作成：川崎市こども未来局青少年支援室

(受託事業者) 認定NPO法人フリー・ザ・チルドレン・ジャパン